

長寿会新聞

ふれあい

発行 平群町会
長寿会
ふれあい
情報部

長寿会待望の「平群町デマンド型乗合タクシー」

令和3年10月1日 運行開始
まずは、利用者登録を！

平群町長寿会連合会 会長 岡 嘉道

長寿会連合会は既存の公共交通体系では支援できない高齢の交通弱者向けの新たな移動支援策の導入を前々から行政に要請してまいりました。そのかいあって、この度、既存の公共交通では支援できない高齢の交通弱者をデマンド方式で支える福祉事業として「平群町デマンド型乗合タクシー」の導入が決定され10月1日より運行が開始されることとなりました。

この「デマンド型乗合タクシー」は、長寿会連合会が高齢者相互支援事業として進めている高齢の交通弱者向け「移動支援事業」と路線をいっにするものであり、運行の開始を大いに歓迎し、積極的に利用してゆきたいと考えております。

後述のとおり、制度の運用にはまだまだ改善してゆかなければならない改善点が多々ありますが、最初の2年半は実証運行の期間であり、この実証期間に蓄積された問題点、改善点、不都合な点は本格運用時(令和6年4月1日)には改善されることと約束されており、本格運用時には長寿会連合会が進めている高齢者向けの「移動支援事業」と同水準になつていくものと期待しております。

長寿会会員の皆様は、この実証運行を積極的に利用し問題点、改善点をドシドシと指摘頂くことが本制度の改善に直接繋がるものと考えております。ご協力をお願い申し上げます。

尚、利用に当たっては事前登録が必要となりますので資格該当者宛に事前に送付されております「平群町デマンド交通利用者証明証」に基づき平群町総務防災課の登録専用ダイヤルに電話して、取り敢えず登録を完了させておいて下さい。

俳句クラブ(かしの木句会)

代表 中川 克己

会員数12名の小さなクラブだが、その分会員間とはとても親密な句歴の長い会員が親切に初心を導いている。活動は月2回の句会が中心。句会の様子を簡単に紹介しましょう。自作を持ち寄り、どの句が誰の句か分からないようにして、別の用紙に書き写す。その用紙を順に送りながら選句します。時間内に選ばなければ詰めた空気が漂う。この緊張感

選句を終えたと各自の選を発表しあい、鑑賞しあう。自分の句が沢山選ばれれば嬉しいし、思いも寄らない解釈に出会って、新たな発見や気づきがあったりします。

会員がよく口にするのは、生活が豊かになったということ。物をよく見るようになった。知らなかつた動物や気候の変化にも気づくようになった。季節の移り変わりにも敏感になった。手紙の時の挨拶も以前とは違つて、豊かで細やかに書くようになった。そういうことをよく言われます。優しい人間になれた気がするという人もおられます。

俳句の力を更に磨くために、俳句実

運行内容の概要

- ① 対象者
65才以上の平群町住民で
1.利用者登録を済ませた者
「登録方法」

・事前に本人宛に届いている「平群町デマンド交通利用者証明証」を手元に置き、総務防災課の登録専用ダイヤル(44-3343)に電話をする。
・フレイルチェック質問5項目のうち1項目でも該当すれば合格で、登録完了です。

- 2.運転免許証返納者
3.身体障がい者手帳所持者、要支援要介護認定者等

- ② 運行車両
近鉄タクシー2台で運用

- ③ 運行区域
平群町内全域
(近大生駒病院、西和医療センターは範囲外)

- ④ 運行日
月曜・金曜平日のみの運用
(土・日・祝・年末年始休み)

- ⑤ 運行時間
午前9時〜午後4時迄
(利用の30分前までに予約必要・予約時間
午前8時半〜午後3時半迄)

- ⑥ 利用料金
300円(一人一回片道料金)
以上

見守り活動チーム活動報告

チームリーダー 前田 重雄

1. チームの概要
・活動メンバー及び地区の紹介
・実施地区10地区
・メンバー13名
・リーダー 前田 重雄(若葉台)
・サブリーダー
三浦 堅次(北信貴ヶ丘)
奥田 徹(緑ヶ丘)
中戸 資祝(椿台)
・メンバー 應田 博康(鳴川)
西村 郁子(月見台)
案西 達芳(若葉台)
吉川 貞子(吉新)
岩岡 清次(初香台)
江見 和朗(光ヶ丘)
中川 公之(横原)
榎原 冽(春日丘)
奥田 勝己(横原)

2. 実施の目的
(1)高齢者が住み慣れた住まい、地域、環境で今までもと安心して暮らして継続していきけるようにする。
(2)元氣な高齢者が、そうでない高齢者の手助けができるよう高齢者相互支援体制を確立する。

3. 見守りの対象者
(1)長寿会会員で65歳以上の一人暮らしの高齢者・高齢者世帯(状況に応じ本人の同意を得ることが必要)
(2)家に閉じこもり気味で人付き合いの苦手な高齢者

4. 活動内容
(1)日常的な変化の見守り安否確認
(2)友愛訪問、電話訪問
(3)話相手、声掛け、参加の誘い、異変の気づき

5. 見守り活動の時期
長寿会発行ふれあい新聞の配布時(当月末から翌月初旬)

6. 活動状況(9地区のみ)
(4月から8月まで)
(1)訪問件数598件
月平均119件
(2)内容
①心配な状態73件
月平均14件
割合12%
②良好な状態472件
月平均94件
割合78%
(裏面へ続く)

令和3年10月度 老人福祉センター「かしのき荘」利用表

日	曜	集会室(2階)	和室		会議室		小会議室(1)		新館・会議室	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
1	金			増	根	編 物	長寿会三役会	長寿会健康部	太 極 拳	ウ ク レ
2	土					健康麻雀有志	若葉台健康麻雀		第 九	九
4	月	櫻	原	団 幕					健 康 体 操	
5	火			増	根	俳 句	若葉台健康麻雀			
6	水		長寿会本部役員会		和 歌 朗 詠	短 歌			ア ロ ハ	ヨ - ガ
7	木	カ ラ オ ケ	団 幕						健康麻雀	
8	金			増	根	茶 道			次	矢
9	土	ふ れ あ い				健康麻雀有志		ウ ク レ	オ カ リ ナ	若葉台健康麻雀
11	月		団 幕		小 筆				長 寿 会 女 性 部	健 康 体 操
12	火			増	根	詩 吟	若葉台健康麻雀			
13	水	椿	台 貴 向 体 操			リフォーム手芸			ア ロ ハ	ハ ソ コ ン
14	木		団 幕			アートフラワー		英 会 話	新 興 踊	
15	金		ふれあい情報部	増	根	編 物	布遊び		太 極 拳	ウ ク レ
16	土					健康麻雀有志	若葉台健康麻雀		ヨ - ガ	第 九
18	月	光 ケ 丘	団 幕						健 康 体 操	
19	火			増	根	俳 句	若葉台健康麻雀	折 り 紙	健康麻雀	
20	水				和 歌 朗 詠	川 柳	楽 園	ア ロ ハ		
21	木	カ ラ オ ケ	団 幕			友 禅	伝承手品クラブ		扇 刺 の 会	次 矢
22	金	御 蔭 苑	増	根	茶 道				ヨ - ガ	オ カ リ ナ
23	土	ふ れ あ い				健康麻雀有志	若葉台健康麻雀		ヨ - ガ	オ カ リ ナ
25	月		団 幕		小 筆				扇 刺 の 会	健 康 体 操
26	火	石 井 ・ 越 木 塚 ・ 福 貴	増	根		詩 吟	若葉台健康麻雀		扇 刺 の 会	
27	水	福 貴 畑 ・ 久 安 寺 東 向 体 操				リフォーム手芸		ア ロ ハ	ハ ソ コ ン	
28	木	下 垣 内	団 幕			アートフラワー	英 会 話 社		協 新 興 踊	
29	金	徳 貴 畑	増	根		布遊び				
30	土					健康麻雀有志	若葉台健康麻雀			

次回のふれあい新聞は10月29日(金)に印刷発行 ★受取は印刷日の午後以降でお願ひします。

甘口辛口

東京・池袋で2019年4月、高齢者が運転する車が暴走事故で禁錮刑の判決を言い渡された。ブレーキとアクセルを踏み違えて暴走、人は車に何かの異常が生じた」と主張したが車両の解析で不具合が見つからなかったことや、アクセルを最大限まで踏み込んだ形跡があったことなど踏まえ、一車両の異常の可能性はなく、ペダル踏み違いが原因だと認定。それを裏づけたのが、イベント・データ・レコーダ(EDR)と呼ばれる装置は、車体が強い衝撃を受けた際に、速度やアクセルとブレーキの操作履歴が保存され、事後的なデータ改変も不可能な仕組みになっている。◇来年7月より新車への(EDR)搭載が義務化される見通し。◇このような事故が頻発すると高齢者の免許証返納が話題になる。◇足腰が衰え、買い物や病院、高台の家に帰るのも車は大事な道具。◇但し、ちよつと危なかつたし、と感じたり、ブレーキが遅れたり、もう運転してはだめと感じたら即返納。◇ただし返納前にデマンド型交通の利用生活の体験を考えてい

「ヤングケアラ」って？

春日丘長寿会 堀田東作

① 調査方式

③見えてきたもの

お願い

$$\begin{pmatrix} 4 & 5 \\ 3 \\ 3 \\ 2 \\ 2 \end{pmatrix}$$

お知らせ

◇健康ウォーク

健康部

川柳クラブ

今回の詠題は「はかる」です。

俳句クラブ

ニフモスの揺れ 歌声の揺れに
岡本 豊子
(コスモス・秋)

コスモスの揺れに和して歌声が揃う。
檀家衆ともに祈れる蝉時雨

蟬時雨が一斉の読経のように感じられる。

(炎天・夏)
田舎のバス停を連想。 錆で連想が広

花岡 安子

太閤忌人影動く天守閣
吉原恵美子

われる。
線香の灰に線香立てて秋

(秋・秋)

江崎 俊夫

ときりと倒しがすはらしい音が
聞こえる。

短歌クラブ
(五十音順 循環)

清き流るる元の姿に
花岡 安子

る手よちしたたる雫の光る
飯田 陽子

介護には百点満点は無いという

魚住潤子
手の平の赤くなるまで拍手して

指差してあれは毒花夾竹桃と教
えてくれし姉は亡き人

亡き友の庭に今年も額紫陽花の紫を愛でにしものを

雪したたるてる坊主
徳原とも子

く浮かびて真夏となりぬ
野木 宗信

.....

おくらみ

日の間に左記の会員の方のご逝去
確認されました。

初め至ります

松本 キヨ様(96) 上庄地区

長寿会連合会一同